

「新しい前進」

会長 三品 優次



TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2918回 例会
プログラム
日本近海における状況
No.2743 3月19日(木)

次週以降の予定
3月26日(木) 合唱を楽しもう
4月4日(土) 第2グループIM
4月9日(木) 次年度会長方針

第2917回 例会報告

2015年 3月12日(木)

会長挨拶・報告



東日本大震災から4年が過ぎ去りました。宮城県南三陸町では、自宅を失った人達の8割近くが今でも「仮設暮らし」が現実です。今年の夏から本格的に高台の土地造成が始まることになっていますが、計画戸数の災害復興住宅が仕上がるのは3年後です。長い人では不便なプレハブ住宅で7年間の歳月を過ごすことになりませんが、仮設を出た人にも多難な前途が待っています。漁業が盛んだったこの地区では、父親世代が流された船を買い直して漁業を再開しても、収入が不安定な漁師では家のローンを組むことが出来ないため、息子世代がローンを組むための会社員になる、と言っても南三陸町には大きな会社はないので、彼らの就職する所は防潮堤や道路を作ったり高台の土地を造成している大手ゼネコンの下請け会社で汗を流しています。この先のない仕事についての息子世代ですが、復興特需が止んだらローンの残った家に親を残し、今度は五輪特需の東京で働くことになるのでしょうか。国の掲げた国土強靱化計画は形が整えば、終わりではなく国民がもっともっと安心して生活ができる仕組みを早く作り上げてくれることだと思っています。

幹事報告



- ①. 滝川青年会議所より、当クラブも共催しております講演会への出席依頼がありました。ご都合のつく方は、是非ご出席をお願いいたします。尚、参加申込み用紙を回覧しますので、お名前をご記入ください。
- ②. 美唄RCより会報が届いております。
- ③. 先週に続きお知らせします。掲示板にも貼っておりますが、ガバナー事務所より「地区史」が刊行されました。一冊2,000円です。希望される方は、事務局までお知らせください。

副幹事報告



2015-16年度、新理事会よりご報告申し上げます。3月3日に開催されました第3回新理事会に於きまして、次年度の会員の皆様の委員会所属が決定しました。所属一覧表をお配り致しましたのでご覧下さい。尚、第4回新理事会と第1回クラブ協議会を4月7日(火)に開催します。4月9日(木)に新理事会担当例会であります。

先週のプログラム

《国際奉仕委員会担当例会》

ーゲスト卓話ー



国際奉仕委員会 松原 章 委員
今日のプログラムは、国際奉仕委員会の担当であります。これから小嶋委員長より講師のご紹介と趣旨説明を申し上げます。その前に皆さまにお願いがあります。明日と明後日

の2日間スキルアップセンターにて匠の技と触れ合う日というイベントを開催いたします。今回で9回目となりますが、約2500人のお客様がお見えになります。興味のある方は、参加いただければありがたいと思います。尚、滝川ロータリークラブより多額の寄付をいただいていることをご報告いたします。それでは小嶋委員長よろしくお願いたします。



国際奉仕委員会 小嶋 俊明 委員長

昨年10月に滝川国際交流協会の事業であります、モンゴルからの研修生をお招きして例会を開催いたしました。様々な国際交流事業を行っておられますが、本日は滝川における国際交流事業についてと題して、滝川国際交流協会の山下裕由様をお迎えして事業について紹介していただくでもあります。開催に先立ちまして、一般社団法人滝川国際交流協会 川口会長よりご挨拶をお願いいたします。



一般社団法人滝川国際交流協会会長

川口 義弘 様

国際交流協会は、平成2年に誕生いたしました。多分当時の吉岡市長が、滝川にもこうした組織が必要であるというお考えから、ロータリーのメンバーでありました武内先生にお願いして設立されたものだと思います。先日、国際交流協会の役員の名簿を拝見する機会がありましたが、ロータリーのメンバーのお名前が多く、国際交流協会とロータリーの結びつきの深さを感じます。国際交流協会の特徴は色々ありますが、その中で非常に事業が多いことが特にあげられます。その一端を今日ご紹介させていただきます。もう一つ、私共の協会はほとんど自分達で稼いで事業を行っております。予算総額の数十分の一の会費収入では、まかなえないことからJICAをはじめとする色々な団体から補助金をいただいて、事業費と運営費を捻出するように工夫しております。

滝川に来た黒人の皆さんが口々にお話されることがあります。滝川に来ると私達のことをジロジロ見ない。滝川ってすごい街ですねと言われる。滝川の良い特徴だと思います。これから国際化は大変重要なのですが、私達は地に足のついた活動を重視していきたいと思っております。本日は最後までご静聴をよろしくお願いたします。

「国際交流協会で行っている 事業内容について」



滝川国際交流専門員 山下 裕由 様

みなさん、こんにちは。私は一般社団法人滝川国際交流協会の山下と申します。本日は、この様な場で皆様を前にお話させていただく機会を頂き、大変光栄に存じます。

国際都市滝川の実現を目指す一方、中空知地域全体も視野に入れ、多様な交流・協力の振興を図ると共に、豊かで活力ある地域社会を実現し、地域の発展に寄与することを目的として、1997年に社団化しました。2000年からは、JICAの研修コース等の受入等、本格的に国際協力事業に取り組みを始め、その後、公益法人

改革により一昨年、一般社団法人化し、多様化する地域ニーズに少しでも応えられるような事業展開を目指しています。設立当初は、だいたい6事業程度でしたが、現在は約7倍の45程度の事業を行っています。

続きまして、当協会の事業紹介に移りたいと思います。それではまず、国際交流事業についてご説明をさせていただきます。「国際交流事業」では、外国人との交流を通して異文化に触れ、世界に通用する人材を育成することを目的としています。中でも最も力を入れてきたのは、何と言っても滝川市の姉妹都市である米国・マサチューセッツ州スプリングフィールド市及びロングメドレー町に、毎年、中・高校生を派遣し、世界に羽ばたく人材育成に貢献している「ジュニア大使訪問団派遣事業」です。滝川市とスプリングフィールド市は、1993年に姉妹都市提携をして、今年で22年目を迎えました。これまでに24回実施し、249名の方がジュニア大使として派遣されています。

Jr大使訪問団派遣事業



Jr大使訪問団派遣事業



技術研修員の受入ですが、主に、独立行政法人国際協力機構、通称JICAという組織から、「農業」、「農村振興」、「職業訓練教育」、「行政組織」、「初等教育」などの分野の研修を受託しています。平成9年度の社団化以降は、これまでにアジア・アフリカ・中南米から71カ国、1000名以上の研修員を受け入れてきました。特に近年は、滝川市の基幹産業である農業に関連する研修コースを多く受け入れ、市内農家の皆さんや、農業関係機関での研修を行っています。

アグリビジネス研修では、農業の企業化を目指して、農産物の加工実習などを行いました。あまり知られていませんが、滝川にはホクレン種苗生産センター、花・野菜技術センター、遺伝資源センターなど、全国的にも例を見ない程、農業試験研究機関が集中している地域であることに加え、研究機関が研修員受入に非常に好意的に思っていたりしていることが、ここまで研修員を受け入れてこられた要因となっています。今年も、多数のアフリカ研修員を受け入れましたので、本日参加されている方の中にも市内でアフリカの方を見たという方も少なくはないのではないかと思います。

技術研修員受入事業



課題別研修「アフリカ地域アグリビジネスの振興と農村開発」コース



受入だけではなく、開発途上国の現場で学ぶ、「ベトナム・カンボジアスタディツアー」を、当協会では毎年1月に実施しています。今回は、滝川高校と滝川西高校の4名が皆様から助成金を頂いて、現地を訪問してきましたが、本日6時30分からその感動の報告会が滝川高校に於いて開催されますので、お時間の許す皆様には、是非ご来場頂きたくお願い申し上げます。

尚、本日いらっしゃられない皆様には是非、ご理解頂きたいのは、皆様から頂きました浄財によりまして地域の将来を担う高校生に、この地に安穏と暮らしているだけでは気付くことのできなかつた事を知る極めて貴重な機会を頂いたということ、そしてその波紋が少

しずつ広がり、皆様が名護市との児童交流を生み出したように、新たなうねりとなってきておりますので、引き続きご協力の程どうか宜しくお願い致します。

ベトナムカンボジアスタディツアー



アナコットカンボジア縫製技術者育成事業



当協会では例年45程度の事業を実施し、それに何らかの形で関わっていただいている市民の皆様は4000人以上、滝川市の人口の約1割となっています。ちなみに実際に来て頂いた人数は、この十数年で2倍となっております。また、実際の経済効果がどうなっているかと大雑把に計算しましたが、最低でも2億円以上の効果が生まれているのではないかと考えております。

今後はより一層、組織を充実させ、ますます地域貢献をしたいと思っておりますので、皆様のお力をお借し頂きたく、宜しくお願い申し上げます。

我々の想像を かに超えて、インターネットが十数年のうちに急速に普及しましたが、同様に今後世界が一体どうなっていくのか…予想することは非常に難しいです。しかし間違いなく言えることは、滝川にいたとしても、海外を相手にしていかななくてはならないということです。当協会では、滝川にいたとしても世界を相手に渡り合える素養を備えた青少年の育成と世界の人たちが集い、語らえる地域づくりに寄与していきたいと考えています。

ベトナム・カンボジアスタディツアー



カンボジアゆめプロジェクトについて



ニコニコBOX

三品 優次会員

山下様、本日は有難うございました。

川口 義弘会員

国際交流のお話を聞いていただいて。

近藤 正孝会員

山下さん今日の卓話を有難うございました。

小嶋 俊明会員

担当例会を終えて、有難うございました。

会長／三品 優次
幹事／深澤 和範
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL(0125)22-3344
FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。